



かしわの

No 504 (12月号)
令和4年11月29日
調布市立柏野小学校
校長 浅野正臣

<http://www.chofu-schools.jp/kasiwano-sho> mail:kasiwano-sho@chofu-schools.jp

やってみないとわからないでしょ

副校長 八木橋 小百合

「かしわの発表会(舞台)」が、11月14日～19日の間で行われました。延べ1277名の保護者・地域・来賓のみなさまに参観して頂きました。

今回の発表会は、コロナ禍で、5・6年生以外の子ども達にとって、初めての経験でした。そういった状況下の中で、子ども達は、緊張する気持ちと向き合ったり、どう表現したらよく伝わるかと工夫を重ねたりしていました。

また、教員は、コロナ感染予防の対策を踏まえながら「どうしたら子ども達の良さを引き出せるか」という視点に立ち、台本を見直したり、衣装を考えたり、大道具を作成したりといろいろと試行錯誤をして本番に臨みました。いろいろな事情で本番に参加できない子ども達もいましたが、この取組の中で参加し、力を発揮しました。

そして、本番では、見てくださる方々のあたたかいエネルギーを全身で感じて、子ども達は、もてる力を十二分に発揮することができました。当日までのご理解ご協力に心から感謝いたします。本当にありがとうございました。

さて、ペンキ画家のSHOGENさんの「やってみないとわからないでしょ」という絵本を紹介します。

(SHOGENさんとは、2020年に柏野小学校のトイレ壁面アートを子ども達と一緒に行いました。)

主人公のザイちゃんは、とっても恥ずかしがり屋で人見知りの女の子です。何かやろうとするけど、うまくいかず、「自分には絶対にできない」と思い込んでしまいます。そんなとき、いつも側にいてくれる友達のハスミィが「やってみないとわからないでしょ!」と言います。そして、ザイちゃんは

いつも見守ってくれているハスミィの励ましをもらって一歩踏み出します。

人は、自分が考えていたこと(想定)と現実(結果)とのズレがあったときに「うまくいかなかった(失敗)」と感じます。そして「自分を責める」「他人のせいにする」「うまくいかないことを認められない」など、そこから動けなくなる(思考停止)という状況になります。

失敗から学び、次に生かすためには、そのときに感じた「ショック・くやしき・みじめさ・悲しき・恥ずかしき」などの気持ちが自分の中にあつたことに気付くことが大切です。そして、ハスミィのように側に寄り添って見守る存在がいることで、子どもは安心してその気持ちに向き合い、そこから前へ進むことができると思います。

早いもので、2022年もあと1ヶ月となりました。

長かった2学期もまとめに入ります。まだまだ感染状況は予断を許しません、ご家庭におかれましては、子ども達の健康管理をどうぞよろしく願いたします。そして、みんなで一日一日を健康第一で過ごしていきましょう。

